

戦評

大会名 平成27年度第68回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技

日時 平成27年6月6日～8日

会場 マエダアリーナほか

女子決勝（6月8日）

弘前学院聖愛高等学校 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-22 \\ 25-10 \end{array} \right\}$ 0 五所川原商業高校

ファーストレフリース

晴山雅紀

セカンドレフリース

工藤治

決勝は11年連続17回目の優勝を目指す弘前学院聖愛高校（以下聖愛）と、14年ぶり4回目の優勝を目指す五所川原商業高校（以下五商）の対戦となった。

第1セット序盤は、聖愛のリードで試合が始まる。お互いセンター戦で加点していくが、聖愛が強弱をつけた攻撃でリードは縮まらず11対5で五商1回目のタイムアウト。中盤は五商長谷川のスパイクが決まれば、聖愛も鈴木スパイクが決まりリードは縮まらず、12-17で五商が二回目のタイムアウト。五商は大坂のスパイク・ブロックで得点していくが、聖愛も多彩なコンビバレーで追撃を許さない。終盤になると、五商は長谷川のスパイクが3連続で決まり流れをつかみ、一気に差を詰め、聖愛が24-22で1回目のタイムアウト。しかし、最後は聖愛鈴木スパイクの時間差攻撃が決まり25-22で第一セットは聖愛が先取する。

第2セットは五商キャプテン原田のサービスエース、聖愛鈴木スパイクでゲームがスタートする。五商はサイド攻撃で加点するが、サーブミスが連続で出て波に乗れない中、聖愛はセッター境を中心とした的を絞らせない攻撃で加点していき4-8で五商が1回目のタイムアウト。その後五商のミスが出て5-11で五商2回目のタイムアウト。五商も長谷川が得点するが、トスのミスもでて聖愛がリードを広げていく。聖愛は帯川のスパイクやサービスエースが要所で決まり、さらに鈴木、佐々木芳のサイド攻撃、ブロックが決まり、10連続得点でリードを一気に14点に広げる。五商も大坂、田中のスパイクで反撃するが、聖愛の境のトスワークが相手ディフェンスの的を絞らせず着実に加点していく。最後は聖愛鈴木スパイクが決まり、25-10で聖愛が11年連続17回目の優勝を決めた。

戦評者 村元直記